

児童発達支援・放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

事業所名：たじま聴覚障害者センター児童通所支援事業所

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・利用児が多い時や、午睡等で横になったりした場合に少しせまく感じるが、基準は満たしている。 ・少人数の時は丁度よい。	・合同の活動になると少し狭いのではと思う。	
	2 職員の適切な配置	・利用児が多いと対応が難しい。不足している。	・手話言語を通じての療育は他事業所より良い。	・職員の確保、定着が難しい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・目で見て分かるように工夫をしている。 ・聞こえない子どもたちとは手話やカードでコミュニケーションを行っている。	・本人にわかりやすい環境・例えば学習部屋、遊ぶ部屋と区切りがあればと思う。	・基準を満たしてはいるが、現在は一室しかなく部屋を区切るの難しいので工夫していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日の掃除、消毒を行っている。	・一日屋内で過ごすのではなく、散歩や公園に行ったり、外の様子を知ったり体を動かしている。	・新型コロナウイルス感染予防に努めている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・行っていない。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・行っていない。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・虐待防止研修などを行った。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・利用児とは手話や絵カードなど本人が分かりやすい方法でニーズを探る。 ・保護者とは連絡ノートや送迎時など常に、ニーズや課題を話し合えるように心がけている。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・来所時間、利用時間、利用児の状態などがバラバラで対応が難しく、今後の課題。		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・本人、保護者のニーズに合わせて具体的な支援項目を設定している。		
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・計画に沿って、利用児の状態に合わせた適切な支援を実施している。		
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・話し合いを行って立案している。		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・学校の課題やしなくてはならない事、遊びを通しての発達支援などができるように工夫している。 ・状態に合わせた排泄介助や更衣などの支援を行っている。	・長期休暇中は、クッキングや作業を取り入れて子どもができる事を考えている。	・長期休暇中はクッキングなど行事を入れている。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・その時の利用児の状態に合わせて行っている。		・本人の希望を尊重して行っている。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・保護者からの連絡事項等の確認を行っている。		
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・行っている。		
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・行っている。		
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・定期的に行っている。		

児童発達支援・放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

事業所名：たじま聴覚障害者センター児童通所支援事業所

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・管理者が参画している。		
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・現在受け入れなし。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・現在受け入れなし。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・該当児がいたが、機関からの要請なし。 ・現在該当児童の受け入れなし。		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・本人や保護者、担当相談員より情報提供はあるが、当事業所への問い合わせ等は特になし。 問い合わせ等があれば情報提供を行う。		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・本部の臨床心理士への相談が可能。定期的に来所し、継続的な利用児の指導や保護者の相談支援を行っている。また、職員へのアドバイスや指導を実施している。		
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・行っていない。今後はそのような活動もしていきたい気持ちはあるが、流行性感染症等の問題もあり難しいのではないかと思います。		
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・行っていない。		
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時に行っている。質問等あれば随時対応できるようにしている。		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・家庭や学校での様子の聞き取り、本人や保護者の心配事や悩みも聞きながら説明している。		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・行っていない。		
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・不安や心配事があれば連絡帳に書いてもらったり、送迎時に気軽に相談できるような雰囲気のできるよう気を付けている。	・大人のろう者のロールモデルとなる方々と身近に触れ合える機会となっている。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・必要があれば本部の臨床心理士との相談や指導が受けられるように対応している。		
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・行っていない。	・保護者会、親子活動など親たちの交流、勉強の場があればよいと思う。	・今後検討していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・第三者委員を設置している。		
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・聞こえない子どもや保護者とは手話を使って会話をしている。絵やカードなど目で見て分かるように配慮している。		
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・行っていない。		
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・十分に注意している。 ・機関紙に写真等を掲載する時は保護者の了承を得ている。		

児童発達支援・放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

事業所名：たじま聴覚障害者センター児童通所支援事業所

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・マニュアルを策定しているが、保護者への周知は行っていない。 ・新型コロナウイルス流行時には判断しづらい所があった。		
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・具体的な災害時マニュアルを作成している。 ・福祉センターの防災訓練に参加した。		
	3 虐待を防止するための職員研修の確保等の適切な対応	・今年度は事業所研修として豊岡市障害者虐待防止センターによる研修受講済。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・現在、該当する事例は無いが、今後必要があれば適切な対応をとる。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・現在、該当する事例は無いが、今後必要があれば適切な対応をとる。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・行っていないが必要性は感じている。事例集は作成していないが情報共有は行っている。		